第四十四回帝國議會貴族院

陸軍軍法會議法案外十件特別委員會議事速記錄第二號

大正十年二月二日（水曜日）午前十時十六分開會

○委員長（松室致君）　是カラ開會イタシマス

○男爵坂本俊篤君　私ハ今日カラ質問ニ這入ッテ戴キタイト思ヒマス

○委員長（松室致君）　ソレヂヤドウカ御質問ノアリマスル御方カラ御質問ヲ……、別ニ御質問ガアリマセヌナラバ、小委員會ト云フ御說ガ出テ居リマスガ、如何デセウ

○子爵樋口誠康君　小委員會ニ這入ル前ニ一ツダケ質問ヲ御許シ下サイ

○委員長（松室致君）　宜シウゴザイマス

○子爵樋口誠康君　是ハ私ハ陸軍大臣カ次官ニ實ハ質問ヲシタカッタノデスガ、御出デガゴザイマセヌカラ當局者ノ御說明ヲ願ヒマス、此軍法會議ノ判決ニ付キマシテ、此度法務官ガ一人加ハリマシタ、法務官ガ加ハリマシタノハ、自然種々ナ規定ガ改正サレテ居ル、今マデノ判士デハ法文ニ稍〻不十分ノ點ガアラウト云フ懸念カラ來テ居ル事ト存ジマスルガ、付キマシテハ法務官一人デナク、後來ハ判士トナルベキ軍人ノ人ニ對シテ敎育ヲ……此法律ノ素養ヲ幾分カ付ケナケレバイカナイカト思ハレル、付キマシテハ今直チニ陸海軍ノ軍人ニソレヲ學バセルト云フ譯ニハ參リマスマイ、例ヘバ士官學校ノ敎育トカ云フ方面ニ付イテハ、多少是等ノ敎育ニ付テハ考慮ヲ要セナケレバナラヌカト思ヒマスルガ、其點ニ付テハ御考慮ハアルノデアリマスカ、ドンナモノデゴザイマスカ、御意見ヲ伺ッテ見タイ、私ハ必要ナリト思ヒマスルガ、如何デスカ

○政府委員（志水小一郎君）　御答イタシマス、軍法會議ノ裁判中ニ文官裁判官、卽チ專門法律家ヲ交ヘマスト云フノハ、御推測ノ通リ法律ノ素養アレト云フコトヲ將校ニ向ッテ望ムコトハ無理デアル……今日ハ尙ホ無理デアル、ソレデハ法律ノ素養ノ無イ軍人ダケデ宜イカト云フト、ソレハ少シモ之シキヲ感ズルト云フノデアリマスカラシテ、畢竟裁判官ノ中ニ專門法律家ヲ交ヘル、ソレカラ又等シク交ヘルニ付テモ、第一審ニ一人、ソレカラ上告審、就中法律問題ノ必要デアル上告審ハ二人、斯ウ云フコトニナリマス、是ハ此案デ新發明デハゴザイマセヌ、近頃ノ軍法會議ノ制度ハ多ク斯ウ云フ傾キニナッテ居リマス、ソレカラ第二ノ御尋ノ將校ニモ法律ノ素養ガ必要デアルデハナイカ、斯ウ云フ事デゴザイマスガ、是ハ御尤デアリマシテ、私ノ立場カラ陸軍ノ方針ガドウデアルト云フコトハ、チヨット申上ゲ兼ネルノデアリマスケレドモ、私ノ察シマス所、又私ノ意見ヲ申上ゲマスガ、法律ノ敎育ト云フコトモ是迄ニ比スレバ幾分カ必要デアラウト斯ウナッテ居リマス、當局者モサウ認メラレテ居ルト云フコトニハ、現ニ昨年デアリマシタカ、士官學校ニ於キマシテ、軍事司法ニ關スル事柄ヲ先ヅ其士官學校ノ幹部ガ、其方ノ概括的知識ヲ得タイト云フコトデ、陸軍省ガ自省シテデハアリマセヌ、士官學校自體ニサウ云フ詮議ヲ致シマシテ、サウシテ現ニ私ハ陸軍刑法ノ大體ノ講演ヲ四五回幹部ニ對シテ致シ、同時ニ陸軍大學校ニ於キマシテモ其必要ヲ感ジテ居ルモノト見エテ、是ハ其筋デ決定シテ、私ニ來テ軍事司法ト云フ題號デ五六回大體ノコトヲ講演ヲシテ呉レト云フ依頼ガアリマシテ、昨年一回、本年一回、其講演ヲ終リマシタト云フ譯デアリマス、併ナガラ矢張リ御推測ノ如ク今日軍人ノ攻究スベキ事柄ハ、日々ニ多キヲ加フルニ、必修課目トシテ軍事司法ノコトヲ加ヘルヤ否ヤト云フコトハ、問題トシテ現ハレルニ違ヒナイノデアリマスガ、マダ規則的ニ這入ッテハ居リマセヌ、ソレダケ……

○政府委員（内田重成君）　唯今ノ御尋ニ對シテ海軍側ノ現狀ヲ申上ゲルコトガ必要カト考ヘマス、第二點ノ將校ニ對スル法律敎育ノ點ニ付キマシテハ、海軍ニ於キマシテハ餘程以前カラ兵學校及ビ海軍大學校ニ於キマシテ、將校ニ法律ニ關スル一般知識、殊ニ刑法及ビ刑事裁判ノ方面ニ對スル知識ヲ與ヘルコトヲ必要ト致シマシテ、課目ノ中ニ加ヘテゴザイマシテ、斯ク申ス私共モ餘程以前ニ兵學校ニ勤務イタシタコトガアルノデアリマス、現在ニ於キマシテハ機關學校ニ於キマシテモ矢張リ此法律ノ方面ノ敎育ヲ致シマシテ、私共部內カラ兼務トシテ敎官ヲ勤メテ居リマス、デ是ハ主トシテ將校科ノ人々ニ對シテ、刑法及ビ治罪法、之ニ關聯シマシテ法律一般ノ知識ヲ敎授スル、斯ウ云フ立前ニ相成ッテ居リマス、御承知ヲ願ヒマス

○政府委員（志水小一郎君）　尙ホ一言附加シテ置キマスガ、今申上ゲタ通リデアリマス、陸軍大學、士官學校等ノ課程ハ……、然ルニ陸軍士官學校ニハ軍政學カト存ジマス、其軍政學ト云フ範圍內ニ於テ、軍事司法ノ眞ノ概要ヲ敎ヘテ居リマスト必得テ居リマス、併シソレハ專門家ヲ俟ッ範圍デナクシテ、一般ノ軍政學敎官ガ當ッテ居リマス、其程度ノコトト思ヒマス

○子爵樋口誠康君　モウ一件伺ッテ置キタイト思ヒマス、昨日刑法ノ改正ノ時ニ此ノ軍法會議法案モ從ッテ改正ヲスル卽チ陸軍治罪法モ改正ヲスルト云フコトヲ、二十四議會デ旣ニ明言ヲシタト云フ御話デゴザイマシタガ、其御話中ニ衆議院ノ御話モゴザイマシタガ、實ハ貴族院ニ於テモ刑法ノ改正ノ終リニ於テ、此委員會ニ於キマシテ時ノ陸軍大臣寺內大臣ヘ對シテ、三好學ト云フ委員ノ一人ガ、此事ニ付テ同ジク質問サレマシタ、同ジ主意ノ答辯ニナッテ居リマシテ、無論近々ニハ治罪法ノ方モ手ヲ著ケナケレバナラヌト云フコトデゴザイマシタ、此事ハ貴族院ニ於テモ政府ノ何カアッタト云フコトヲ申上ゲマス、ソレカラ其時代カラ今日マデ實ハ色〻形式ニ付テ昨日御話ニナリマシタガ、アマリ延期ニナッタト云フヤウナ御話ノ原因ハ私ハモウ少シアリハセヌカト思フノデアリマス、ソレハ陸軍軍法會議ノ法案ノ改正ニ付キマシテハ、刑事訴訟法ガ改正ニナル、ソレヲ御待チニナッタノガ大ナル原因デナカッタカト思

フノデゴザイマスガ、刑法ノ改正カラ今日マデ此改正ガ遷延トシテ延ビタ、斯ウ延ビル モノデナイ、モウ少シ早ク出來ニヤナラヌト思フノデゴザイマスガ、全ク刑事訴訟法ノ改正ヲ待ッテ來タト云フノガ大ナル原因デハナイカト思フノデアリマス、其事ハ昨日御話ガゴザイマセナンダガ、原因トシテ如何ナモノデアリマスカ、一ツ伺ッテ置キマス

○政府委員(志水小一郎君)　御答イタシマス、全ク御推測ノ通リノヤウナ事情モ、此調査ニ比較的長年月ヲ要シマシタ理由ノ一ツニナッテ居リマス、ソレカラソレハ爲シ得ルコトナラバ、刑事訴訟法ノ改正ノ調査ノ終リヲ待ッテ、刑事訴訟法ノ改正ト同時ニ陸海軍ノ制度モ改正ヲシタイ、斯ウ云フ詮議デゴザイマシタガ、所ガ御承知ノ通リ中々困難ナ事情ガアリマシテ、向フノ進行ガ遲々デアリマシテ、此上幾年カカッテ改正ガ出來ルヤラ分ラヌト云フ狀態デアリマス、サウスレバ、ソレヲ待ッテ居ル譯ニ行カヌ、此方ハ前申上ゲマシタ如ク、衆議院アタリデハ單行勅令ヲ以テ迄モ必要ナル改正ヲセンケレバナラヌト云フ催促ガゴザイマス、制度自體ノ不備ナルコトハ前申上ゲタ通リデアリマス、ソレデ何時マデモ刑事訴訟法ノ調査ノ進行ヲ待ッテ居ル譯ニハ行カヌノデアリマス、ソレカラ、ソレデハ向フノ改正ニ先立ッテ此方ヲ改正シヤウ、ソレニ付テ不都合ガアルカナイカト云フヤウナコトモ十二分ニ詮議ヲ盡シマシテ、サウシテ刑事訴訟法ノ改正ニ先立ッテ此制度ヲ改正スルニ付テハ取調モソレ〳〵進行シヤウト云フ詮議ヲ以テ此通リニナリマシタ、全ク御推測ノ通リデアリマス

○委員長(松室致君)　別ニ御質問ガアリマセネバ、此小委員ヲ設ケルノ可否ニ付テ御意見ヲ承リタイノデゴザイマス、如何デスカ

○河村讓三郎君　チョット私質問ヲ致シタイト思ヒマス、昨日志水理事カラ承リマシタノデスガ、辯護ノ規定ヲ特設軍法會議ニハ適用セヌコトニスル精神デアル、然ニ再審ノ手續ニ至ッテハ、特設軍法會議ニ於テモ辯護ノ規定ヲ適用スルガ如ク見エル所ガアッタノデ、其ノ點ハ今度改正イタスト云フ、斯ウ云フ御話デアッタノデスガ、ソレハ何所ニ書イテアリマスカ、箇條ニ依テ御示シヲ願ヒタイ

○政府委員(志水小一郎君)　陸軍案デゴザイマスト、四百九十四條、四百八十條ノ第一項ニ但書ヲ加ヘマシタ、是ハ御承知ノ通リ最初ノ辯護ニ關スル一般ノ規定ノ所デハ但書ガアリマスケレドモ、茲ニ其再審ノ所ニ規定ガナイノデアリマスルカラ、前ノデ讀メルト云フナラバ讀メル、疑ヒガアルト云フナラバ疑ヒガアル、四百八十條ノ但書ヲ「但シ特設軍法會議ニ付テハ此限ニアラス」ト致シマス、ソレカラ第四百九十四條中ニ今申上ゲマシタ如ク修正ヲ加ヘマス、卽チ第三項トシテ一項ヲ置キマシタ、「前二項ノ規定中辯護人ニ關スルモノハ特設軍法會議ニ付テハ之ヲ適用セス」、是ハモウ昨日申上ゲマシタ如ク、最初ノ原則的規定ノ但書デ讀マレルト云フ積リデアリマシタケレドモ、此法文ヲ斯ウ懲ニ讀ンデ見マストト云フト、全キヲ求ムル上ニ於テハ矢張リ此事ヲ入レテ置イタ方ガ宜カラウト云フノデ、實質ニハ變リハゴザイマセヌケレドモ、此法文ヲ以テ其趣旨ヲ明カニシテ置イタ方ガ宜カラウト斯ウ云フノデゴザイマス、九十三條ニ「前六條ノ規定ハ特設軍法會議ニ付テハ之ヲ適用セス」ト云フコトガ書イテアリマスガ、併ナガラ再審ノコトガ又別ニ出テ居リマスルカラ、其時ハ特ニ辯護士ヲ用キルノデハナイカト云フ疑ヒガアルカラ法文ヲ以テ明カニスル、斯ウ云フノデアリマス

○河村讓三郎君　モウソレデ分リマシタ

○委員長(松室致君)　ソレデハ坂本男爵ノ、小委員ヲ設ケテ審査ヲシヤウト云フ御意見ニ御異論ハアリマセヌカ

○西久保弘道君　ソレニ付キマシテ私ハ一寸希望ヲ述ベテ置キマスガ、至極小委員ハ宜シカラウト思ヒマス、ソレニ付テハ委員ノ選定ニ付テ、私ハ實ハ若シ委員長ガ選定デモサレルト云フコトナラバ、希望ヲ述ベテ置キタイノハ、此前委員デアッタ御方ガ大分居ルヤウデアリマス、隨分浩瀚ナモノデアッテ始メテ委員ニナッタ者ナドハ餘程調査ニ困難ヲ感ジマス、昨年十分御調ベニナッタ御方ガアルヤウデアリマスルカラ、兎ニ角選定ハ何レニサレテモ、サウ云フ御方ニ御願ヒスル方ガ大變便利ダラウト思ヒマス

〔「贊成」ト呼フ者アリ〕

○委員長(松室致君)　昨年ハ小委員ハ七人デシタガ、其中ノ四人ハ今度委員ニナッテ居ラレナイ、ダカラ元ノ委員ハ三人シカアリマセヌ

○西久保弘道君　イヤ、小委員ノ人ハサウデセウガ、全體昨年委員デアッタ御方ガ大分居ラレルデセウ

○委員長(松室致君)　トコロガ昨年ハ矢張リ、大抵今ノ此位デアッタト思ヒマス、アト小委員デアッテマダ報告ヲセナイ中ニ解散ニナッタモノデスカラ、殆ド餘リ審査ハシテ居ナカッタノデス、併シ其御意見ハ承ッテ置キマス、別ニ小委員ヲ設ケルト云フコトニ付テ、御異存ハナイヤウデアリマスカラ、御異議ナイモノト認メマス、ソレカラ小委員ノ人數ト、ソレカラ其選擧ハドウ云フ風ニ致シタラ宜シウゴザイマスカ、御相談申上ゲマス

○子爵樋口誠康君　委員ノ數ハ五名ト致シマシテ、委員長ト副委員長ヲ加ヘテ七名ト致シマシテ、選定ハ委員長ニ御任セシタイト云フ動議ヲ提出イタシマス

〔「贊成」ト呼フ者アリ〕

○委員長(松室致君)　ソレデハ御異存ナイト認メマス、ソレデハ委員長ニ御任セニナルト云フコトデアリマスカラ、其小委員ノ御指名ヲ申上ゲマス、樋口子爵、大島健一君、河村讓三郎君、佐竹男爵、西久保君、此五名デ、アトハ委員長ト副委員長ガ加ハルノデアリマス

○男爵佐竹義準君　此際チョット願ッテ置キタイコトガアリマス、私ノ記憶違ヒカ存ジマセヌガ、昨年ノ小委員會ノ時ニハ速記ガ無カッタヤウデアリマスガ、此度ハ出來得ル限リ速記ヲ付ケテ御開キヲ願ヒタイ

〔「贊成」ト呼フ者アリ〕

○委員長(松室致君)　ソレデハ速記ヲ付スルコトニ致シマス、アトハ小委員會デヤルコトニ致シマシテ、委員會ハ是デ散會スルコトニ致シマス

午前十時四十三分散會

出席者左ノ如シ

午前十時四十三分散會

出席者左ノ如シ

委員長　松室　致君
副委員長　男爵坂本　俊篤君
委員
侯爵細川　護立君
伯爵柳澤　保惠君
男爵小澤　武雄君
子爵樋口　誠康君
大島　健一君
河村　讓三郎君
男爵宇佐川　一正君
男爵肝付　兼行君
男爵佐竹　義準君
磯部　四郎君
西久保　弘道君

政府委員
內務省警保局長　川村　竹治君
理事　志水　小一郎君
主理　內田　重成君

大正十年二月三日印刷
大正十年二月四日發行
貴族院事務局
印刷者　印刷局